

# 血液型のお話

輸血部 市川喜美子

あなたの血液型は？と聞かれた時、自分の血液型をすぐに答えられる人は多いと思います。週刊誌や占いの本にも必ずといっていいほど血液型占いのページがありますね。今週一番ラッキーなのはA型の人です、などと書いてあるのを見て、私も一言一憂するうちの一人です。

各血液型の日本人における割合は、A型が40%、O型が30%、B型が20%、そしてAB型が10%です。血液型を調べるには血液を検査するのが一般的ですが、血液以外でも調べることは可能です。実際、テレビドラマなどでは犯人のものとみられる毛髪や体液、皮膚を使って血液型を推測したりしています。それでも一筋縄ではいかないのが人間というもの。中には毛髪や体液では血液型が特定できない特殊な人も存在するのです。やはり正しく判定するには血液を検査しなくてはなりません。

ABO血液型の他に、Rhプラス・Rhマイナスという言葉を目にしたことがあるかと思いますが、これはRh血液



型という種類の、更にその中のひとつであるDと呼ばれる因子の有無を表わしています。このD因子を持っている人がRhプラス、持っていない人がRhマイナスと表現されているのです。日本人でRhマイナスの人は200人に一人と少数派です。輸血による副作用や妊婦時のトラブルを回避するためにも、ABO血液型と同様、確実に検査する必要がある重要な血液型です。

実はこのABO血液型やRh血液型以外にも人間には様々な血液型があるのをご存知ですか？その種類はナント！200以上にもなるのです。この200以上の中には重要な役割のある血液型もいくつか知られています。例えば、マラリアという感染症が多い地域には、マラリアにかからない血液型の人々が圧倒的に多く存在するのです。環境に合わせて人間が進化していることがよくわかります。

200種類以上ある血液型の組み合わせを考えたら、この地球上に血液型が全く同じ人がいる確率は、それこそ天文学的な数字です。全く同じ血液型をもつ一卵性双生児には神秘性すら感じます。そう考えると血液型占いが当たらなくても、あまり気にならなくなりますか？